

データコレ端末_情報-ツール_フォルダ内容.pdf	(本資料)
仕様構成概要(資料)	カタログ、機能概要、構成概要資料
データ送受信仕様	データコレ端末からのタグ状態の変化通知やタッチパネル液晶の操作通知、データコレ端末への応答電文仕様、フロー情報。
データコレ端末設定ツール	Win系PC用ソフトウェアです。 データコレ端末とPCをUSBで接続して使用します。 (PCにUSBドライバが準備されていない場合は、 https://ftdichip.com/drivers/vcp-drivers/ から、ご利用のPC用ドライバをご準備下さい。 最初に「端末設定ツール」を使用し、接続先のサーバー(PC)との接続方法や接続先のIP、端末のIPなどの設定をします。
データコレ端末HF帯用RFID書き込み(発行紐付)ツール	Win系PC用ソフトウェアです。 タカヤ製HF帯リーダ・ライタを使用し、タグを管理システムで使用するため、指示書/現品票、装置、作業者、作業種別、状況などに紐付けるために、タグのメモリに書き込みを行います。タグのメモリへの書き込み(エンコード)仕様は、「RFIDタグメモリマップ」フォルダの情報をご確認下さい。 ※「RFIDタグメモリマップ」-「EPCタグ(HF帯/UHF帯)利用時の基本メモリマップ(例)」に準じない、認識のEPC値の書き込みも可能です。 ※EPCの先頭値が"FF"は、データコレ端末のメンテナンス用に使用しておりますので、データ収集用タグとして利用出来ませんので、ご注意ください。 ※EPCの先頭値が"9x"、"Ex"、"Fx"につきましても、機能予約がされておりますので、データ収集用タグとして利用出来ませんので、ご注意ください。
[データコレ端末UHF帯用RFID書き込み(発行紐付)ツール]	UHF帯用のツールは、準備が御座いません。
RFIDタグメモリマップ	EPCタグ(HF帯/UHF帯)利用時の基本メモリマップ(例)です。 「データコレ端末HF帯用RFID書き込み(発行紐付)ツール」は、このEPCタグメモリマップ(例)に対応した書き込みを実施します。 ※データコレ端末は、EPCメモリマップ(例)に準じないユーザー様のシステムに応じた書き込み内容で動作させる事が可能です。
FABIRIGATE_Core(データコレ端末お試し初期セット)	ミドルウェア：データコレ通知のCSV化のお試し版。接続1台制限・期間制限なし。 ダウンローダURL ユーザー名・パスワード ※お試し利用・トライアル時にお知らせ致します。 下記へご相談下さい。 https://www.rfid.sealex.co.jp/contact.html ※機能無制限(期間限定あり)のトライアルライセンスが必要な場合は、ご連絡下さい。 E-mail : rfid@sealex.com ※フォルダ内の資料 FABIRIGATE_Core(データコレ端末お試しセット)ダウンロードについて.pdf をご確認下さい。

■Throughモード移行タグの使用法

"Throughモード移行タグ"を認識させると、データコレ端末は、上位から制御可能な動作モードへ移行し、「端末設定ツール」では、設定出来ない、端末内蔵のRFIDモジュールに対する設定が可能となります。 "Throughモード"で利用可能なツールは、下記となります。タカヤ社の"ユーティリティツール(デモアプリ)"ページ <https://www.product.takaya.co.jp/rfid/products/software/utility.html> をご確認ください。

データコレ端末HF版： タカヤ株式会社 HF帯RFIDリーダライタ ユーティリティツール TR3RWManager

データコレ端末UHF版： タカヤ株式会社 UHF帯RFIDリーダライタ ユーティリティツール UTRRWManager

■Resetタグの使用法

"Resetタグ"を認識させると、端末は、リセット動作を実施します。

★データコレ端末用ダウンロードファイルの構成は、変更・更新する場合がございます。 更新の連絡・案内は実施しておりませんのでご了承下さい。